

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2015年8月

コミッティ活動

REGULATORY : 担当 森田 (tmorita@isda.org) / 洞口 (khoriguchi@isda.org)

電子取引基盤 (ETPs)

5月に開催された取引成立の時期に関するサブワーキンググループでの検討課題について、ISDAは金融庁と面談を行った。ISDAは取引内容の誤入力または未入力があった場合の取引成立の時期に関して、OTCデリバティブ規制ワーキンググループを対象に面談内容を反映させた検討事項の修正案を回覧した。

COLLATERAL: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / 洞口 (khoriguchi@isda.org)

Japan WGMR Implementation

8月4日、Self-Disclosure Letter (本邦規制対応部分)の2次ドラフトをJapan WGMR Implementation ワーキンググループのメンバーに回覧し、ドラフトへのコメントを8月21日まで募集した。

IMの分別管理・倒産隔離に関する検討会

8月6日、IMの分別管理・倒産隔離に関する検討会の会合が開催され、以下の点について検討を行った。

- 1) オペレーション分科会は、オペレーションの自動化対象や優先順位検討等、オペレーションフローを考える際に参考とするためにカストディアンと信託銀行へ行ったヒアリングの結果を共有した。有事のオペレーションが各カストディアン、信託銀行で異なるが、デフォルト当事者に差し入れられた当初証拠金が速やかに全額返却されるプロセスが必要であることが明らかになった。また、担保管理における業務負荷シミュレーションに関する検討も行われた。
- 2) メンバーはまた、検討中のオペレーションプロセスと信託契約書案に規定されたプロセスを比較、信託契約書案への反映について討議した。信託契約書案に規定されたプロセスを現行のオペレーションプロセスに合わせるため、信託銀行はドラフトの修正を検討することが合意された。また、9月の会合に向け、信託契約書の概要書英訳を作成することが合意された。

東京市場におけるOTCデリバティブ取引の担保化に関する市場調査 (年次サーベイ)

日系・外資系金融機関の合計21社が参加した「東京市場におけるOTCデリバティブ取引の担保化に関する市場調査」(年次サーベイ)の詳細結果が、8月13日にJapan Collateral Committeeのメンバーに回覧された。調査結果により、東京市場の非清算集中OTCデリバティブ取引に利用されている担保額は、前年比11%の増加が明らかになった。また、回答者は、2015年には前年より多くのCSAの利用、および担保管理とドキュメンテーション要員の増加を見込んでいることも明らかになった。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

IM Segregation Working Group
(日本語による会議)

9月3日

Collateral Committee
(日本語による会議)

10月9日

2014 ISDA Annual Japan Conference

於: ザ・リッツ・カールトン東京

(英語と日本語によるコンファレンス)

10月29日

Trust Banks' Fund Account Sub-Working Group

(日本語による会議)

tbd